

# パブリックコメントにおける意見と区の考え方

別紙1

No.	意見（要旨）	区の考え方
1	インフルエンザの感染拡大を防ぐために、区内の医療施設に早期発見装置の設置を推奨してほしい。	インフルエンザウイルスを高感度に検出する技術については、複数の研究所や企業で開発が進められているところですが、新型インフルエンザの感染拡大防止の一助になるものと認識しています。今後、さらなる実用化・汎用化の動きに注視し、関係機関への情報提供等を検討していきます。
2	インフルエンザの被害想定について、想定条件以上の病原体が出現した場合でも計画は実行可能か。条件次第では医療機関に能力以上の負荷がかかる可能性があり、極端な場合を想定しておくのは重要なことだと考える。	想定以上に病原性が高いウイルスの出現により、患者数が増加し、医療機関が不足するような状況が生じた場合は、国が行う緊急事態宣言を受けて、定員超過入院や臨時の医療施設の設置等により対応していくことが想定されています。本区においては、本行動計画にも掲載している文京区新型インフルエンザ等感染症医療体制検討会議の中で、病原性が高いウイルスが発生したケースを含めた医療体制構築についての議論を進めているところです。
3	一般区民への予防接種は都内感染期のフェーズとなっているが、流行が始まってからワクチンを打っても免疫がつくまでの時間を考えると遅いのではないか。	区民への予防接種（住民接種）の時期については、出現したウイルスを基に製造されるパンデミックワクチンの接種が想定されていることから、新型インフルエンザ等発生後すぐに接種を開始することは難しいと考えています。なお、本区における具体的な接種体制については、今後、国や都が作成する予定の手引きを参考にしながら、整備を進めていく予定です。